

平成25年度第1回磐田市旧見付学校協議会報告

日時 平成25年6月5日(水)午後3時～5時

会場 いこい茶屋

出席者 虫生委員、藤田委員、望月委員、高橋委員、松下委員、鈴木委員

欠席：兼子委員、松本委員

事務局：飯田教育長、山崎課長、早澤課長補佐、高畑、田村

1 委嘱状交付

出席委員6名に、教育長から委嘱状を交付

2 委員紹介

3 教育長あいさつ

4 会長・副会長選出

委員の互選により会長選出・・・高橋委員より松下委員を会長への推薦

異議なし・・・松下委員を会長に

会長の指名により副会長選出・・・松本委員を副会長へ指名

5 会長・副会長あいさつ

6 議事〔概要〕

(1) 平成24年度旧見付学校事業報告について

事務局より説明

むかしの授業体験、成人対象 昔の授業体験、緋の着物で散策、ボランティア、消防訓練、その他について

(2) 平成25年度旧見付学校事業計画について

事務局より説明

むかしの授業体験、成人対象 昔の授業体験、緋の着物で散策、入館40万人達成記念式典、展示関係、ボランティア、文化財防火デー、その他 について

(質疑)

〔事務局〕1点補足させてください。去年の第一回協議会の時に、AEDの設置についてご指導いただきまして、すぐその後、リースしまして、見付学校と赤松家にAEDを設置しました。

〔委員〕いつもこの会議の時に、入館者数が議題になる。当然、入館者数が一番のバロメーターですから気になりますけども、例えば岩科学校とか入館者数がどのくらいあるとかつかんでいますか？

〔事務局〕岩科学校は22000ですね。ピーク時は38000あったそうです。あそこは町ぐるみで観光ツアーにしているようですね。

〔委員〕こういう施設ですから、18000とかいう数字は決して少ない数字ではなくて、これがどんどん減っちゃって、1万人きったとかなると、ちょっと考えなきゃいけないんでしょうけども、数だけ見た時に、この現状を維持する努力が大変だと思います。リピーターってあるんですか？

〔事務局〕年配の方はリピーターの方多いですね。

〔事務局〕最後に残るのは数字だもんですからね、数字がだんだん減っていくのは寂しいなという思いがありまして。しかしこの通りも食堂もなくなり、食べるところもない、そういうようなところにお客さんが来てくれるのかなという思いもあります。とにかく現状維持、ないしはある程度プラスに向かうような形で取り組んでいきたいと思います。

〔委員〕団体というのは個人の意思と関係なくツアーで連れて行かれるというのが多いですね。それに対して、個人は行きたくて行く、口コミやパンフレットを見て、行ってみようということで行く人が増えているというのは、確かに総人数は微減でも、個人が増えたというのは大変評価してもいいと思います。それでも総数がある程度ということになれば、団体についてもPRを考える必要があると思いますが、決して旧見付学校が人気がなくなったとか行ってみたいと思う人が少なくなったとかそういうことではないかと思います。

〔委員〕入館者数を増やすんだ、それに向かって努力するんだという姿勢だけは持ってもらうないとまずい。こういういろいろな打ち合わせの中でプラスになることを実行に移していく。団体と個人でもいろいろ手の打ち方が違ってくると思います。いずれにしても入館者数、数字で表れますので、24年度に対して25年度はこういう努力をして増やすんだということだけはしなければいけない。結果はどうなるかわかりませんが。

〔委員〕磐田文庫に回っていく人っていうのはわかりませんよね。通路があるだけで。みなさん見て帰ってきているのかな。

〔事務局〕結構、磐田文庫どこにあるって聞いていく人いますね。あそこにあるってご存知ない人多いようです。

〔会長〕トイレ行けばね、なんか建物あるなって気づくでしょうけど、そうでないと見落とす場合が多いんじゃないですかね。だから、団体さんなんかには説明するときは、必ず磐田文庫のことは紹介してね。とても珍しい建物がありますので、立ち寄ってもらうようにしているんですけども。

〔委員〕磐田文庫をもしそのように皆さんにみてもらうなら、内容をね、もうちょっと検討しなくちゃいけないんじゃないかと思いますよ。磐田文庫、名前は我々だって知っていますけどね。じゃあ中に入って、「ああ良かった」という感じを受けるかどうかの問題なんですね。だから、もしそうであるなら、内容をもう少し検討して、見学者が興味を持てるような、細かにPRというか、具体的に説明を目で見えてわかるようにするとか準備をしておかなくちゃいけないと思いますけどね。

〔会長〕ボランティアの人ももう少し増えたりして、そういう方面にもちょっと興味付けしてもらえるようになるのもいいですが、若い層にもぜひそういうふうな人たちを育ててもらえるといいなと思います。先日、森町の歴史資料館に行ってきました。昔は雑庫というか、いろいろな古いものを集めて詰め込んであるだけのおそまつな資料館だという感じで見たことがあったんですが、先日行ったら、比較的整理されていて、氷砂糖の鈴木藤三郎のことがたくさん展示されていて、説明もできていた。こういうふうに変わっていかなくちゃだめだと感じたわけですが、見付学校も一層見ていただけるように、中を検討していかなくちゃいけない面もあると思います。

〔委員〕磐田文庫もすごいものだと思いますが、ああいう江戸時代の本とかあってもね、読めない。書いてあることが理解できない。実物を見てこれがそうかという程度で、あれを一般の人にうまく説明するとなるとかなりの知識がある人でないと、至難の業だね。

〔会長〕文庫の建物自体も特殊なもののようなので。

〔委員〕建物を含めてね、歴史的価値とか、とにかく全体がすごいものだと思います。あれを広くみなさん

にというのなかなか簡単でない気がしますね。

〔委員〕よく観光地に行くと、スタンプラリーというやり方をよくやりますよね。歴史もので全部そろえるとなるとなかなか大変だけど、ちょっと目先をかえて、行ってみたいなと思えるところとコラボするというようなスタンプラリーも一つの手ではあるかなと。現実的になるかどうかは別ですが。

〔委員〕24年度と25年度の計画の中で大きく変わったものはないんですか？先から言っているように、去年やったから、今年度はそれをならってまたやりますよって、それだけじゃなくて、入館者を増やすためにはこういうことを具体的に今年度はやりますよとか、こういう点で力を入れていきますよとか、他にもいろいろあると思いますけど、そういうのが大事じゃないかと思っています。話が違つかもしれませんが、旧浅羽の郷土資料館行きますとね、非常に子どもたちが行って、分かりやすい展示がしてあります。生徒が、子どもたちがその現場に行って、目で見て、わかりやすく、説明もできて、興味を持たせるというやり方、浅羽の郷土資料館はその面では非常に良い。見られると非常に参考になるんじゃないかと思います。

〔事務局〕私たちが話しているんですよ。海のもの、真ん中へんと豊岡のものと全部を集めて、そういうようなところを作りたいねって。見付学校にもいっぱいあるんですよ。だけど、だーっとおいてあるという感じになっている。それをまた整理するというと、外さなきゃいけないものも出てくるし、もう少し考えの整理をしないと。

〔委員〕建物の問題じゃないと思います。狭くても狭いなりに、内容を充実させれば、子どもたちが行って、十分説明受けて、納得して帰るんじゃないかと思います。並び方一つを考えてもね、創意工夫が必要じゃないかと思います。

〔事務局〕見付学校については、その展示の表現の仕方であるとか、文章表現であるとか、そのへんを気を付けながら、一度、浅羽の方を見させていただきます。

〔事務局〕事業はあまり変わらないんですけども、見付学校からの情報発信をもう少しやってみようかと思っています。今年はいわたホットラインを使ってイベントの情報を流したり、赤松家が2週に1回、ホームページ上で赤松家だよりを更新しているんですけども、見付学校でもそういうのを作って掲載していこうかなと思っています。

〔事務局〕情報発信と、観光協会とか他の施設との連携を図っていかないと、見付学校だけでは、とても集客できないだろうということで、観光協会との話し合いとかあるいは商店街、厳しいと思うんですけども、「緋の着物で散策」できっかけができたもんですから、商店街へももう少し話しかけをして、何らかの形で見付学校だけではなくて、他の施設も含めた連携の中で集客を図っていきたいなと思っています。

〔委員〕歴史文書館の資料を見付学校に展示するとかどうなのかなと思っていますが

〔事務局〕以前は企画展をやっていましたが、西日が当たるとか湿度の問題で、23年度からやめています。本年度は、期間を短くして、スポット展示的にね、話題になったものとか、新たな発見があったものとか、教育資料に関してということになりますけども、そういうものがあつたら、見付学校で展示していききたいねという話をしました。そういうのであればマスコミもとびついてくれますしね。文書館にも話をして、教育資料で何か面白いものが見つかったら教えてと話しているんですけども。

〔会長〕今年は料金を取るというのがね、入ってますけども。

〔事務局〕受益者負担といいますが、クリーニング代、保険というので実費がかかっているものですから、せ

めてクリーニング代だけをご負担いただこうということで考えています。

[委員] 豊岡からみると磐田はちょっと遠く感じるんですね。市外局番にして旧豊岡だけ市外局番まわさなきゃいけない。そういうのが微妙に心理的に遠く感じるというか、融和するのにな。見付学校っていても、どこにあるのって言う人がね。竜洋の小学校で調査したら14%って言ってたけど、豊岡でやったらたぶん一桁ですよ。知らないのに、行こうかって言っても、なかなか無理ね。まずはこういうのがあるよってみんなに知ってもらうところからやって、それから行きましようって。時間がかかるんですね。

[会長] 地域が広まったわけですから、まだまだ無理があるということですし、ぜひこの協議会が活躍しなくちゃいけない場があるなということ、つくづく思います。今日は十分なまとめになるものはありませんでしたけれども、いろいろな問題点を出していただいたという点でありがたかったと思います。

[事務局] ありがとうございます。みなさんの見付学校に対する思いから、かなり強いご指摘も受けました。事務局が今考えてることを1つでも形にして、今年度の実績としてご報告できるようにしていきたいと思います。折に触れてご指導いただきたいと思います。本日はどうもお疲れ様でした。ありがとうございました。

17:00 終了、解散